

町内会長 奮闘中

春日井・如意申町内会 奥山さん

近郊版



リトル・ドル
野田節子
おおぞら

ニュース、情報は下記へ

社会部

052-231-1650-5919

Eメール

shakai@chunichi.co.jp

春日井支局 千486-0844

春日井市鳥居松町3-60

0568-81-2036 Fax81-2797

大山通信局

0568-61-2612 Fax61-2613

小牧通信局

0568-72-1177 Fax72-6530

瀬戸支局

0561-82-3121 Fax82-5316

一宮総局

056-72-4545 Fax72-5035

江南通信部

0587-54-4001 Fax54-9622

いのちのかけこみ寺

縁切り供養

大法寺

費用、跡継ぎ、供養、
墓じまい、仏壇じまい
何でもご相談ください

0567-28-7319

愛西市福葉町江頭10番地

樹木葬 大法寺 検索

町内会を紹介するポスター、新たに描いたス
ロカフのバズルを手にする奥山さん。いすれ
も春日井市如意申町の如樹学園等供用施設で



4月から春日井市如意申町の町内会長に就任した奥山利男さん(72)が、減少傾向にある町内会加入率を向上させようと、広報紙を創刊するなど奮闘している。奥山さんをもっと気にかけるのは、本紙市民版で鈴木龍司記者が2021〜24年に連載していた「町内会長日記」。多忙な記者生活との「二刀流」の活躍に感銘を受けた。昨年退職した自分な、同じうにできるのでは」と意気込む。

中学時代は新聞部に所属。難しさや、紙面を埋める大してため「記事を書く、変さが少し分かる」という(伊藤純平)

本紙連載に触発 広報紙創刊・デジタル化も

手始めに、鈴木記者が始めた町内会広報紙「東志賀ヒューズ」を参考に「はなみず通信」を新規発行。退職前に勤務業務を担当していた経験を生かして4月創刊号では、町内の催しや理容店を自ら取材して紹介している。町内会全戸にポスティングし、活動の周知を図る。5月号以降は会員のみに配布する。

また、町内会のイベント告知や入会手続き、共用施設予約がしやすいホームページと交流サイト(SNS)アカフを作成。加入率が低い原因の一つは「他の町に比べて若い世帯が多い」と分析し、インターネットを使う若年層が手軽に町内会活動に触れることで、身近に感じても

奥山さん、町内会の役員も退職前からの務めであり、名古屋市内の勤務先で本紙市民版の連載を読んでいた。「仕事と両立しながら、あそこまで意欲的、活動するのは大変。感心しながら読んでいた」と振返る。

「こみ捨て場や防犯灯の管理などは町内会が担っている。きれいで明るい如意申町を守りたい」と意気込んで会長になったものの、同町内会加入率は約37%で、市平均の54.1%を大きく下回っていた。

「うつつ」を期待する。そのほか、ホームページやSNSの運用を担う「入会推進担当」という役職を新たに作り、4人を任命した。奥山さんを含め5人が23日の総会で、広報紙発行やデジタル化での加入者へのサービス向上と、戸別訪問など入会を推進する方針を説明。出席した住民ら約70人からの反応も良好で、「加入率低下への危機感が共通認識としてある。町内会の必要性を周知し、盛り上げていきたい」と意気込んだ。

マイクを握り、町内会活動の方針を説明する奥山さん(左から2番目)

